

講義名	教養特講（国際法入門）/国際法			授業形態	
担当教員	則武 立樹	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	LBA118

主題と概要
紛争や飢饉、貧困、気候変動、ジェンダー格差、富の不均衡など、現代国際社会はさまざまな問題を抱えている。こうした諸問題に国際社会が一丸となって取り組むべく、2015年に国連で「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」を採択し、「誰一人取り残さない(No one will be left behind)」世界の創造を目指して、2030年までに達成すべき17の目標を定めた。このSDGsという取り組みの根幹には「人権尊重」という理念が存在しており、すべての国家とその国民の「行動基準」となるよう期待されている。そして、この「人権」の実現、保護/促進する手段として有効なものこそが、本講義が中心に講義する「国際法」と呼ばれるツールなのである。そこで、本講義は現代国際社会が抱える具体的事例を取り上げ、国際法が果たす役割とその限界について知ることを第一の目的とする。また併せて、学生自身が国際社会の一員として生きていくために、人権という概念を理解し、尊重するための必要な知識を身に付けることを目的とする。

到達目標
学生が国際社会で生じる諸問題について、その問題点、原因、現在講じられている国際社会の取り組み等、その問題の概要を新聞記事やニュース等から読み解くことができるようになる。学生が同問題の解決について、論理的に思考し、自らの言葉で説明できるようになる。

提出課題
授業時に複数回コメントカードの提出を求める。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
次回授業内にて講評を行う。

評価の基準
・平常点（授業中の問答、コメントカードの提出状況およびその内容）（30%）
・到達度の確認（授業内試験）（70%）
上記の評価項目を総合的に判断して最終的な成績を算出する。

履修にあたっての注意・助言他
・本科目では、受講生が法学初学者であることを念頭に、抽象的で難解だと思われる「法」の話を出来る限り詳しく解説し、また、国際社会で実際に生じている具体的問題を取り上げることで、受講生の皆さんに「国際法」というものをより身近に感じながら学んでもらう予定である。わからない部分がある場合はそのままにせず、積極的に講師に質問して欲しい。
・授業中の私語、スマートフォン及びパソコンなどの電子機器の操作等、授業と関係のない行動は認められない。悪質である場合には退室を命じるほか、減点の可能性もあるので注意すること。

教科書
・使用しない。

参考図書
・なし。

その他

授業計画
第1回：イントロダクション（授業運営及び成績評価等について）/オリエンテーション なぜ私たちは「人権」について学ぶ必要があるのか？
予習内容：人権概念について、インターネット等を用いて調査しておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第2回：戦争とジェンダー ポスニア紛争/IS/ウクライナ侵攻における戦時性暴力とその発生メカニズム
予習内容：戦時性暴力の定義、発生メカニズムについて、インターネット等を用いて調査しておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第3回：戦争とジェンダー 比較対象としての従軍慰安婦問題/黒川村高層開拓団性被害問題
予習内容：従軍慰安婦とは何か、また黒川村高層開拓団を襲った悲劇について、インターネット等を用いて調査しておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第4回：「LGBTQ+」を巡る人権問題 同性愛（同性間性行為の刑事処罰）/同性婚を巡る欧州・日本の動向/親子関係の保障
予習内容：現在、日本国内で裁判ともなり注目を浴びる同性婚について、自分なりの意見をまとめておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第5回：「LGBTQ+」を巡る人権問題 性別違和（性別違和者の性別適合手術の可否/戸籍上の性別訂正/子の出生性）
予習内容：性別違和とは何かについて、インターネット等を用いて調査しておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第6回：「命の選別」を考える 優生思想（ナチスドイツにおける安楽死プログラム）
予習内容：「命の選別」と呼ばれる非人道的な思想がどのようなものなのかについて、インターネット等を用いて調査しておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第7回：「命の選別」を考える 優生思想（旧優生保護法下での障がいのある人に対する強制不妊手術/トリアージ/出生前診断/安楽死）
予習内容：現代社会で直面する「命の選別」の問題について、自分なりの意見をまとめておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第8回：「難民」について考える ミャンマー情勢に翻弄されるロヒンギャ問題から見る国際機構の役割と限界
予習内容：世界最悪の難民問題と言われるロヒンギャ難民について、インターネット上の動画等を視聴し、イメージを把握しておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第9回：「在日朝鮮人/韓国人」を巡る人権問題 表現の自由の保障とヘイトスピーチ規制の強化
予習内容：私たちの身近で生じる在日朝鮮人/韓国人に対して行われているヘイトスピーチというものが彼らをどれほど苦しめているのかについて、インターネット等を用いて調査しておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第10回：「部落出身者」を巡る人権問題 就職/結婚差別とその解決策としてのアファーマティブアクションの活用
予習内容：「部落」と呼ばれる存在。そして、部落出身であるがゆえに受けてきた差別について、インターネット等を用いて調査しておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第11回：「絶対的貧困層」を巡る人権問題 成功事例としての「グラミン銀行」の取り組みから考える
予習内容：1日2.15ドル未満で生活し、食料や水、衣服など最低限の生活すら満足に送ることのできない絶対的貧困層の人の重んじられている状況について、自分なりの意見をまとめておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第12回：「子ども」を巡る人権問題 人身売買と児童労働から見る「ビジネスと人権」のあり方（企業の社会的責任：CSR/英国現代奴隷法2015）
予習内容：人身売買の業態に採取的に労働を課せられる子どもたちについて、インターネット上の動画等を視聴し、イメージを把握しておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第13回：「犯罪加害者」を巡る人権問題 死刑制度に対する日欧の対応の差異
予習内容：死刑制度にはどのような問題があるのかについて、インターネット等を用いて調査しておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第14回：「犯罪加害者」を巡る人権問題 日本における現行の死刑制度に関する日本国憲法との整合性
予習内容：刑罰としての「死刑」は存続すべきか、廃止すべきか、自分なりの意見をまとめておくこと（120分）。
復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
第15回：到達度の確認（授業内試験）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目の修得を通じて、本学卒業生が共通して身に付けるべき力のうち、特に次のような力を養うことができる。
・知識を知識に転換することができる。論理的思考力を持った人財
・情報収集：課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる（情報収集力）
・収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる（情報分析力）
・現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる（課題発見力）
・さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた道筋や取組みを明らかにした上で、具体化することができる（構想力）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
コメントカードの活用により、一方的な講義形式ではなく、学生自身主体的に考えられるよう、双方向でのやり取りを行う。

実務経験の有無及び活用

備考